



「竜宮城へ連れて行ってくれる？」

佐伯市の蒲江港で網に 絶滅危惧「タイマイ」保護



保護されたタイマイⅡ24日、佐伯市蒲江

佐伯市蒲江の蒲江港で、熱帯・亜熱帯の海域に生息するウミガメ「タイマイ」が保護された。体に網が絡みついてうまく泳げなくなり、潮流に乗って流れ着いたとみられる。ひれに傷を負っており、

24日、治療のためつくみルカ島（津久見市四浦）が受け入れた。回復を待って放すという。ウミガメの保護活動をしているNPO法人「おおいた環境保全フォーラム」によると、

タイマイは主に赤道付近の海に生息し、県内ではめったに見られない。甲羅がべつ甲の材料となることから乱獲され、環境省が絶滅危惧ⅠB類に指定している。

保護された個体は21日昼ごろ、港に設置している道の駅「かまえ」のいかだに引っかけられていた。駅長の早川光樹さん(29)Ⅱ顔写真Ⅱが絡まっ



ていた網を取り除き助けたという。体長は約30センチ、重さは約2キロで、生後1〜2年とみられる。

早川さんは「海洋ごみを減らす大切さを改めて感じた。いつ竜宮城に連れて行ってくれるのか、楽しみです」と話した。

(小松和茂)



〔問①〕 佐伯市蒲江の蒲江港で保護されたウミガメは？

〔問②〕 保護されたときウミガメはうまく泳げない状況でした。それはなぜですか？

〔問③〕 乱獲が問題視されているタイマイは絶滅危惧IB類（近い将来に野生で絶滅する危険性が高い）に指定されています。乱獲されるのはなぜですか。

〔問④〕 海洋ごみが増えると他にどんな問題が起こると考えられますか？
